

2015年9月30日
昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)

昭和電線グループCSR報告書2015 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社（取締役社長 相原雅憲）は、2014年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取り組みを「CSR報告書2015」として取りまとめました。

2014年度の報告内容は、超電導ケーブルシステムの事業化に向けた取り組みの紹介をはじめ、コンプライアンスのさらなる強化、次世代育成支援制度の拡充や地球温暖化防止の取り組みなど、より良い未来の実現に向けた活動を紹介しています。

当社ホームページに詳細版を掲載しておりますので、ご覧ください。



WEB トップページ www.swcc.co.jp/environment/csr/2015/index.html

【主なトピックス】

1. 組織統治

- ・従来の独占禁止法遵守体制構築推進部会を「コンプライアンス体制構築推進部会」に改め、幅広い法令遵守体制を構築。

2. 人権・労働

- ・小学校就学前の子を養育する従業員が対象であった「育児のための短時間勤務制度」の適用範囲を拡大。

3. 環境

- ・地球温暖化防止の項目では、エネルギー消費量原単位では、2006年度～2009年度の実績平均値から4%以上の削減目標に対して10.6%達成。
改善施策によるエネルギー消費量の削減（省エネ）では、基準値のエネルギー消費量の0.8%以上の削減目標に対し1.3%達成。
- ・第5次ボランタリープラン（環境自主行動計画）の達成状況は、化学物質削減・ゼロエミッション・環境貢献製品の拡大など7項目すべて達成。
- ・環境会計にもとづく環境保全に伴う経済効果は「銅の回収、再資源化により得られた収入額」などにより、合計2,595百万円。

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5404-6951